

3. 三島恭一, 平田 勲, 1970. エスレルによる早生温州ミカンの着色促進試験〔Ⅱ〕。採収果実の浸漬処理について。カンキツ試験研究打ち合わせ会議才1分科会資料, 昭44:53-54.
4. 谷口 保, 浜田憲一, 1970. エスレルによる早生温州ミカンの着色促進試験。カンキツ試験研究打ち合わせ会議才1分科会資料, 昭44:57-58.
5. 秋田, 古原, 1970. エスレルによる早生温州の着色促進について。カンキツ試験研究打ち合わせ会議才1分科会資料, 昭44:59-60.
6. 山本正幸, 広瀬和栄, 重松 充, 1970. エスレル散布後の温度の違いが落葉におよぼす影響。カンキツ試験研究打ち合わせ会議才1分科会資料, 昭44:65-66.
7. 白石真一, 栗山隆明, 1970. カンキツの色素に関する研究(才7報)温州ミカンの果皮色素構成におよぼす Ethrel の影響について。園芸学会春季大会研究発表要旨, 昭45:118-119.
8. 山本正幸, 大東 宏, 広瀬和栄, 宮本 裕, 1969. カンキツの催色に関する研究(才1報)ACP剤による温州ミカンの着色効果とエチレン発生について。園芸学会春季大会研究発表要旨, 昭44:48-49.
9. 大東 宏, 広瀬和栄, 梅田圭司, 1969. カンキツの催色に関する研究(才2報)ACP剤によるナツミカンの着色効果とカロチノイドパターンの変化。園芸学会秋季大会研究発表要旨, 昭44:40-41.
10. GOODWIN, T. W. 1965. Chemistry and Biochemistry. Academic Press, London and New York.
11. CURL, A. L. 1953. Application of countercurrent distribution to Valencia orange Juice carotenoids. Agr. and Food chem., 1(6):456-460.
12. CURL, A. L. 1961 An improved test for carotenoid epoxides. Agr. and Food Chem., 9(5):403-405.
13. PORTER, J. W. and ANDERSON, D. G., 1967. Biosynthesis of carotenes. Ann. Rev. Plant Physiol. 18:197-228.
14. PRATT, H. K., 1969. Physiological role of ethylene in Plants. Ann. Rev. Plant Physiol. 20:541-584.

☆ 雑草の公害

自然破壊, 工場廃液, 自動車の排気ガス, スモッグ, 光化学等々, 世は正に公害時代である。最近の週間誌で, 「21世紀は人類が滅亡する」? というショッキングな見出しで公害問題を扱っている。

ところで, 雑草にも公害があることをご存知だろうか。夏から秋にかけて花が咲くブタ

クサやセイタカアワダチソウは, 場所によっては一面に群生して花を咲かせるが, これらの花粉は風によって飛散し, この花粉を吸うとぜんそくになることがある。特に老人や子供がかかりやすい。これは, 雑草公害の1例であるが, もし, 家の近くにブタクサやセイタカアワダチソウが群生していたら, 花の咲かないうちに除草したいものである。